

## 協議事項 1 天神社について

### 1 天神社拝殿について

#### (1) 拝殿の経過

天保 5 (1834) 年 拝殿建築 (向拝柱礎石刻銘より)

「天保五年午四月日」、「願主 高橋佐五右エ門」

昭和 12 (1937) 年 拝殿屋根修繕 (境内石碑より)

茅葺 (伝承) から金属板瓦棒葺へ

(昭和 51 (1976) 年 R C 造覆殿 (境内石碑より))

覆屋を木造から R C 造りに改修

平成 4 (1992) 年 拝殿屋根改修 (境内石碑より)

現在の銅板平葺に改修

#### (2) 拝殿彫刻

拝殿には、虹梁部の象鼻や獅子鼻をはじめ、様々な彫刻が多数みられる。

正面虹梁上部の木彫り「龍」の裏側には、願主の刻書が残っている。

#### (3) 鰻絵について

拝殿の小壁の鰻絵は、全体として水に関係したものが施されている。

側面及び正面外側には「波」が描かれており、正面中央部には「龍」が描かれているとのことであるが、「龍」については絵馬により主要部分の確認ができていない。絵馬の横から撮影した画像からは、周囲の波とは異なる造形の鰻絵が施されていることが確認できる。

鰻絵は、隣接する小平市の鈴木稻荷神社の本殿覆屋にも見られる。こちらは両側面と背面に動物の鰻絵が施されており、背面に残る刻書から「田無村の左官職新倉安左衛門」によって作られたものである。

## 2 総合調査について（案）

### (1) 調査目的

- ・天神社の保有する文化財の記録及び価値づけ
- ・関連する文化財を含めた総合的な価値づけ
- ・周辺地域における天神社の歴史的な意味づけ及び普及

### (2) スケジュール

期間：平成 29 年 7 月 1 日から平成 31 年 6 月 30 日まで

- ①平成 29 年度 調査内容の決定、物件調査、中間のまとめ
- ②平成 30 年度 物件調査の関連付け、まとめ

### (3) 調査体制

（仮称）分科会等の設置により組織化を行う。

- ・文化財保護審議会委員  
調査内容の検討、調査・研究
- ・市民調査員  
文献調査、聞き取り調査

### (4) 想定される調査項目・内容（案）

- ・建造物  
拝殿鍔絵（正面の状況）、旧本殿（三十番神との関連） 等
- ・文書、金石文  
蓮見家文書、金石文のまとめ、その他文書調査 等
- ・民俗資料等  
絵馬、その他天神社保有の資料、（保谷囃子） 等
- ・周辺地域との関連性等  
三十番神信仰関連、練馬区（特に大泉地区）及び周辺地域の調査 等
- ・文化的景観  
境内の樹木等、立地・来歴の調査（下保谷絵図等地図資料） 等
- ・天神社の保存、活用  
現在の保存・活用の状況把握 等